

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は6月30日週報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～生乳生産量の増加幅縮小も牛乳類需要は依然低調～》

- ・6/13週の牛乳類の家庭内消費について、前年比90%を下回った前週よりも若干回復し、92.7%となった。全品目通じて販売個数は前週よりも増加したものの、依然として低調な推移となっている。気象庁のデータによると、6/13週は全国的に気温・降水量ともに平年並みとなったことから、販売個数が増加した要因の一つと考えられる。
- ・ヨーグルト類についても、前週よりも販売個数は増加しており、特にドリンクタイプは6週連続で増加し、前年並み水準となった。
- ・ロシアによるウクライナ侵攻により食料品やエネルギー等の必需品の高騰が続き、家計への負担が増大しており、また円相場は136円水準まで低下、一層負担に拍車がかかる可能性があるなかで、22日には参院選が公示され、原油・物価高対策が重要な焦点となっており、今後の政策の行方に注目される。
- ・北海道(ホクレン)の生乳受託乳量は6月中旬は前年比100.2%となり、生産抑制の取り組み等により増加幅は更に縮小しているが、全国の牛乳類の消費は前年比90%前半と低調に推移しているため、脱バ仕向量は依然として前年を超える水準となっている。梅雨明け後の気温の上昇に伴う消費の増加に期待しつつも、同時に業界全体で家庭内消費を中心とした需要の底上げを図り、需給緩和の早急な改善が求められる。

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(6/13週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 同92.7%、成分調整牛乳: 同94.5%、加工乳: 同97.0%、乳飲料: 同91.2%。

牛乳類トータルでは同92.7%

※参考: 2020年度比は、牛乳: 88.8%、成分調整牛乳: 91.8%、加工乳: 88.3%、乳飲料: 81.7% (牛乳類トータル: 92.7%)

※参考: 2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は97.5%。

・販売単価は、牛乳: 189.9円、成分調整牛乳: 173.6円、加工乳: 189.7円、乳飲料: 149.8円。

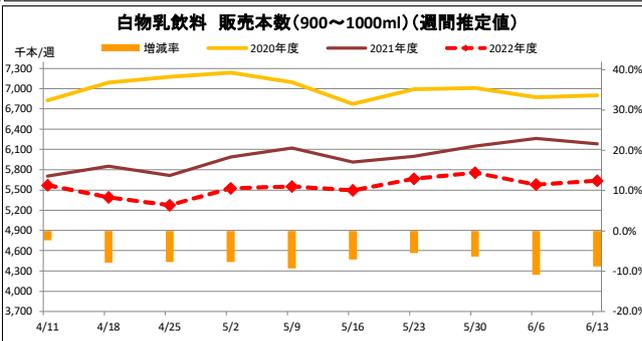
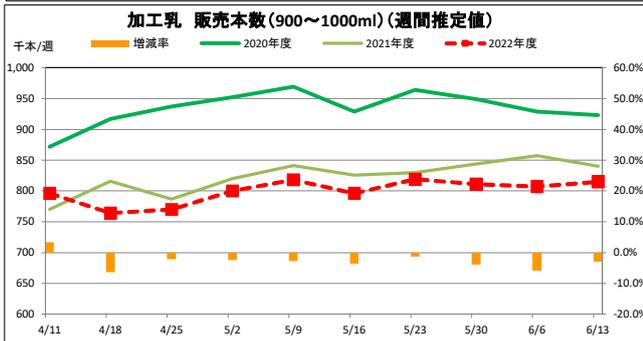
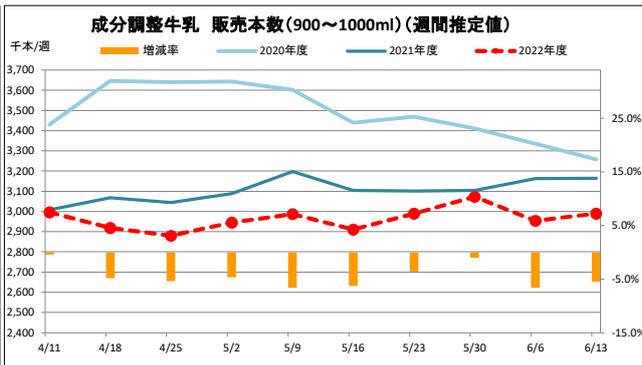
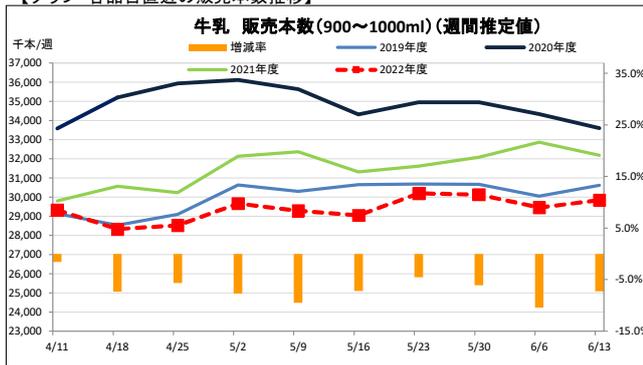
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	4.25-	5.2-	5.9-	5.16-	5.23-	5.30-	6.6-	6.13-
		販売個数	37,448	38,928	38,641	38,248	39,667	39,766	38,789
トータル	販売個数前年比	94.1	92.6	90.9	92.9	95.5	94.3	89.9	92.7
	販売単価	183.1	183.2	182.6	182.7	182.8	183.0	182.9	182.9
	販売個数	28,523	29,657	29,285	29,046	30,192	30,127	29,451	29,835
牛乳	販売個数前年比	94.3	92.3	90.5	92.8	95.5	93.9	89.6	92.7
	販売単価	190.0	190.0	189.7	189.6	189.7	190.0	190.0	189.9
	販売個数	2,880	2,945	2,987	2,911	2,990	3,073	2,954	2,990
成分調整牛乳	販売個数前年比	94.6	95.4	93.4	93.7	96.4	99.0	93.4	94.5
	販売単価	173.2	173.9	173.3	174.0	174.1	173.4	173.8	173.6
	販売個数	770	800	818	796	819	811	807	815
加工乳	販売個数前年比	97.9	97.5	97.2	96.4	98.7	96.1	94.1	97.0
	販売単価	190.1	190.5	189.1	189.5	190.5	191.0	189.2	189.7
	販売個数	5,274	5,526	5,551	5,495	5,666	5,755	5,578	5,638
乳飲料	販売個数前年比	92.3	92.3	90.7	92.9	94.5	93.6	89.1	91.2
	販売単価	150.2	150.5	149.4	149.6	150.0	149.9	149.6	149.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(6/13週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目通じて前週よりも販売個数が増加した。ドリンクタイプは6週連続で増加、前年同期比100%に近づく水準になっている。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	4.25-	5.2-	5.9-	5.16-	5.23-	5.30-	6.6-	6.13-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↗	↗	↗	↗	↗
個食タイプ	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗
大容量タイプ	↗	↓	↗	↗	↗	↗	↗	↗

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。